

地方創生加速化交付金実施計画

①〔地方公共団体名〕

都道府県名	千葉県
市町村	鋸南町
都道府県・市町村コード(5桁)	12463

②〔申請額〕
(単独事業分)

No.	交付対象事業の名称	申請額(千円)
1	里海・里山・里愛きよなん体験発掘事業	12,000千円
2		
小計		12,000千円

(広域連携事業分)

No.	交付対象事業の名称	申請額(千円)
1		
2		
3		
4		
5		
小計		0千円

総計

12,000千円

③〔加速化交付金(第1次)交付額〕

No.	交付対象事業の名称	交付額(千円)
1		
2		
3		
4		
計		0千円

④〔連絡先〕

担当部局課名	総務企画課 企画財政室
担当者氏名	山根 慎平
電話番号	0470-55-4801
メールアドレス	kikakuzaisei@town.kyonan.chiba.jp

地方公共 団体名	千葉県鋸南町
-------------	--------

事業分野 (大項目)	地方への人の流れ
---------------	----------

事業分野 (詳細)	②(①を除く)地方創生人材の確保・育成等の人材分野
--------------	---------------------------

事業分野	○
------	---

No.	①交付対象事業の名称
単独1	里海・里山・里愛きよなん体験発掘事業

<p>②事業の背景・概要 (地域性や本交付金の必要性が分かるよう、簡潔に記入)</p>	<p>【地域性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鋸南町は首都圏から車で約1時間の千葉県南部の東京湾側に位置しており、都心からの交通アクセスの良さと温暖な気候で、水仙や桜等の自然環境や、鋸山の大仏や菱川師宣記念館などといった歴史文化施設、漁協直営食堂といったものを中心に年間約95万人の観光客の来訪がある。 ● 町北部には名刹日本寺や東洋一の大仏を有す標高329mの観光メッカ鋸山がそびえ、東京湾に面した風光明媚な海岸線は房州海水浴場発祥の地でもあり、浮世絵の創作者菱川師宣生誕地、源頼朝の上陸地など、先人が築いた名所、名跡の地である。 ● 古くは伊豆大島航路の立寄り港でもあり、夏期の海水浴を中心に首都圏、関東一円からの避暑客で賑わった地域であったが、近年は志向の変化から海水浴客は減少、温暖な海洋性気候と地理的好条件、恵まれた農水産物を背景に、日本三大水仙生産地や早咲きの類朝桜(河津桜)など、早春の花観光と新鮮な食の提供を中心として、千葉県北部、東京都、神奈川県などから、高速道路、アクアライン、フェリーなどを利用して観光客が訪れている。 ● 平成27年12月に廃校施設を改修した都市交流施設・道の駅保田小学校(ほたしようがっこう)を開業、廃校利用のコンセプトがメディアで多く取り上げられ、町民の経済拠点(直売所での地場産品の販売等)となり、日帰り客を中心として集客、送客の拠点が確立しつつある。 ● 近年は、都心からのスポーツや体験、研修のための宿泊滞在も増加の傾向にあり、都心に近く、豊かで身近な海や山をフィールドとしたアクティビティを求めて、新たな人の流れが始まっており、これらを受け入れる事業者や、イベント等の開催も増え始めている。 (スポーツ合宿/スポーツ合宿と自然体験/味わいハイキング/狩猟エコツアー/ポールウォーキング/スキューバ体験/鋸山日本寺ツアーガイド、版画体験、甲冑づくりなど) ● 今まで、生産を主としてきた農漁業の生産者は、地場産品の直売や、食の提供、農業体験の受け入れなど、単なる生産から交流客を顧客とした多様な事業に参画、更に新たな事業へチャレンジする機運が高まっている。 <p>【事業の背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町内の観光施設、事業者等は、それぞれに情報の発信、リピーターの確保に努め、一定の集客実績はあるものの、町全体で一元的に鋸南ファンを囲い込み、集客を図るための仕組みが整っていない。 ● 土日、祝日を中心として南房総地域に流入する大勢の観光客を長時間滞在させるコンテンツ、平日でも目的地となるような魅力、特徴づくりが課題となっている。 ● 今回、新たに開業した道の駅保田小学校では、南房総地域でアクティビティを目的に滞在する家族や中高年、外国人をターゲットとした簡易宿泊所を有しており、この機会に町内の体験メニューを発掘・開発して、町内の宿泊施設との連携や空き家の活用により、体験プログラムを構築することで、田舎で体験を希望する都市住民の一元的な受け入れを可能とし、利用者の利便性、効率性の向上を図れる。 ● 農業、漁業といった一次産業では、低所得、重労働などの就労環境や、有害獣被害などの影響から後継者不足、高齢化が進み、若い世代が望む雇用環境を構築するためにも、観光と連携した新たな事業への転換を望む事業者も多く、地場産業の振興からも体験などの観光型農業・漁業が求められている。 <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● そこで、都心から好立地、身近に海や山、歴史遺産、田舎暮らしのある鋸南町において、体験提供事業者や宿泊事業者を中心とした協議会を設立した上で、既存の体験やアクティビティのメニューをブラッシュアップさせ、新たなメニューを開発し、宿泊事業者との連携を中心としたサービスの提供を行い、来訪者の満足度の向上とリピーターの増加による、鋸南町ファンの増加を促進するとともに、町民の再チャレンジの機運を高めていく。 ● 体験メニューは、首都圏からの立地や温暖な気候、風光明媚な景観を大いに活用して、一般の日帰り観光や観光バスツアーへの提供だけでなく、宿泊を前提とした体験プログラムを構築して、通過地点から目的地とする長時間滞在を目指していく。 ● 更に、利用者の利便性や効率性、良質な情報発信を行うため、一元的なシステムを構築する。 <p>【具体的な進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都市住民、外国人などが世代別・目的別に、求めている体験、アクティビティのメニューを調査し、同時に、町内で体験などを提供、受け入れている事業者の現状を調査する。 ● 体験受入事業者、宿泊事業者、観光施設運営者、道の駅事業者を構成員として、協議会を設立、都市住民などの要求の高い、身近で味わえる自然体験、産業体験、アクティビティをより多く、良質なサービスを提供できるよう、町の潜在力、特徴に照らし、発掘・開発する。 ● 体験メニュー等を提供できる事業者を町内外から選定し、既存事業者とともに専門研修など、人材育成を行っていく。 ● 町内で開発・発掘した体験メニューをデジタル化、システム化を図り、既存の観光資源のPRとともに、道の駅や各事業者から情報発信、受付がワンストップで行える仕組みを構築する。 ● 宿泊事業者との連携のもと、体験プログラムの提供により、長時間の滞在を推進し、来訪者の満足度の向上、リピーターの確保、鋸南ファンの増加を促進する。
---	--

③交付対象事業に要する費用の内訳

	交付金を充当する経費		全体の施策の一部に本交付金を充当する場合や複数年で事業を計画している場合は、全体の事業内容、金額及び期間について記入 ※ 複数年で事業を計画している場合は、事業終了時における重要業績評価指標(KPI)についても記入
内訳	<ul style="list-style-type: none"> ●体験プログラム構築等委託費 6,500,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・既存の体験メニューの実態把握、首都圏のセグメント別ニーズ調査 ・町の自然環境や歴史、観光施設を活用した新たな体験のメニュー化 ・新たなメニューを提供する事業者等の発掘、開発支援、人材育成 ・宿泊施設や空き家を連携した体験プログラムの構築、実施 ●WEBサイト等構築委託費 3,500,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・体験メニューのデジタル化等のコンテンツ作成 ・既存観光資源のPRコンテンツの情報発信 ・体験予約サイトの構築、情報の一元化 ・facebookページの制作、SNSによる情報発信の整備 ●PR媒体作成委託費 2,000,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・町内各施設、町外に向けたPR用動画、小冊子の作成 		今後の展開 ●体験移住ツアー 交流人口を増加させ、体験事業のブラッシュアップを図るためにモニターツアーを実施する。今回作成された体験プログラムを組み込み、宿泊から体験等を実施する。 ツアー参加者：10組程度 ●推進協会を中心としたPDCAの実施 モニターツアーや日常の受け入れを通じ、来訪者の実態を検証し、提供するサービスのブラッシュアップ、変化するトレンドに対応した商品づくりを図っていく。 ●地域の中核人材の育成 高齢化等によって、地域コミュニティの崩壊が懸念される中、各地域や産業において、新たな事業を展開するための中核人材の育成を進めていく。 ●交流人口増加に伴う経済波及効果の増大 地域に来訪する人口の増加に伴い、農水産物などの一次産品の販売量の拡大や、異業種が連携した六次産業化による地域特産品等の開発、販売の増加に伴い、地域活力の向上と、経済力の強化を図る。 ●体験から移住への促進 体験を通じ、町内に多様なライフスタイルを送る人が来訪し、町の自然や歴史、人、物に触れる機会が増加する。 この機会を得て、道の駅を中心として、町のPR、空き家等の移住定住の情報を提供するとともに、移住定住のための相談窓口の開設や宿泊施設を活用した二拠点居住等のお試しツアーを実施し、移住定住対策の推進を図る。
金額	12,000千円		
うちハード事業経費			
	内容		
	金額		
予算計上時期	28年6月	補正予算	
事業実施期間	始期：28年9月	終期：29年3月	始期： 年 月 終期： 年 月

事業の一部もしくは全てにおいて、類似の地域少子化対策事業について、「少子化対策重点推進交付金」と重複した申請の有無	なし
地域再生法に基づき認定された地域再生計画に記載された事業との連動性の有無	あり

④本事業における重要業績評価指標(KPI)と地方版総合戦略における基本目標と数値目標

(1)本事業における重要業績評価指標(KPI)	本事業終了時		数年後	
	指標値	年月	指標値	年月
観光入込客数	100万人 (H26:95万人)	H29. 3	120万人	H32. 3
体験の事業化数	3事業 ※農業・漁業・有害鳥獣分野	H29. 3	5事業 ※商工(空き店舗利用)・暮らし(空き家利用)	H32. 3
道の駅の経済効果(道の駅直売所の売上)	4億円 (H27:1.5億円)	H29. 3	5億円	H32. 3
(2)地方版総合戦略における基本目標と数値目標	基本目標1 本町の特性を活かした産業振興と雇用創造 数値目標：町内の新規就業件数(常用雇用) 100人/5年 基本目標2 新しい人の流れをつくる 数値目標：年間の転出超過人数を20人以内に抑制(5年間の平均値)			

⑤本事業の効果検証及び事業見直しの方法、時期及び体制

外部組織による検証の有無	あり	検証時期	29年7月
検証方法	検証委員会による検証		
外部組織の参画者	議会代表(副議長、総務常任委員長、産業常任委員長)、商工会、観光協会、農業委員長、民生委員・児童委員協議会、区長会長、漁業協同組合組合長、教育委員、金融関係者、大学関係者(外部有識者)		
検証結果の公表の方法	鋸南町HPにて公表		
議会による検証の有無	あり	検証時期	29年9月
検証方法	外部組織の検証結果を踏まえて、鋸南町議会にて検証		

⑥事業の仕組み

	説明
(1) 地域経済分析システム(RESAS)の活用などによる客観的なデータやこれまでの類似事業の実績評価に基づき事業設計がなされていること。	<p>鋸南町の観光については、現在95万人の観光入込客数で、内、宿泊数は約4万人前後で推移しており、日帰り観光がほとんどである。当町の主な観光については、漁協直営食堂に約45万人、鋸山(日本寺)に約27万人、水仙や桜の花観光に約18万人となっており、これらの施設を目的に訪れており、町内でのアクティビティがないことがうかがえる。</p> <p>当町の体験ニーズ調査として、道の駅保田小学校の構想段階で「首都圏(1都3県)在住の20歳代以上、国内旅行が趣味で南房総に訪経験がある方」に対してアンケート調査を実施し、当該施設では、「学校の歴史を活かすこと」「都市と地元の交流促進」が重要であり、「観光商業」+「体験・学習」+「地元就業」の複合施設を目指すことが求められている結果となっており、鋸南町の観光においては、体験・学習という要素を集中的に実施していく必要があると考えられる。</p> <p>首都圏及び羽田・成田空港から車で1時間の距離にあり、観光しやすい立地にある鋸南町の潜在的に集客可能な人口は約4,000万人と想定している(鋸南町から半径100km圏内の人口約3,500万人+在日外国人やインバウンドの観光客)。この内、現在約1,000万人が南房総地域(館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町)に観光で訪れているが、鋸南町に訪れている観光客数は約95万人である。そのため、まずは、南房総地域に訪れている1,000万人の観光客を取り込める年間を通じた活動プログラムが必要であると考えられる。</p>
(2) 事業の企画や実施に当たり、地域における関係者との連携体制が整備されていること。	人・モノが一極に集まる道の駅では、町関係団体及び道の駅関係者、町内において農業体験等を実施している生産者が連携している。道の駅へ農作物を出荷している出荷組合の中にも農業体験を実施している生産者もあり、体験事業に対する機運もあり、連携体制も構築されている。

⑦先駆性に係る取組 (②:2つ以上の記載必須)

	取組内容	
(1) 自立性	3~5年以内の自立化の見込み	① あり(自主財源による自立)
<p>〔先駆性のポイント〕 事業を進めていく中で、「稼ぐ力」が発揮され、事業推進主体が自立していくことにより、将来的に行政からの補助金等に頼らずに、事業として自走していくことが可能となるもの。</p>	財源の内容とその実現方法	
	財源の内容	実現方法
	体験プログラムの参加費	体験プログラム提供による収益、参加者の増加、リピーターの獲得のため、集客力のある道の駅保田小学校でPRを実施し、顧客単価を向上させていく。 また、廃棄ロス等がなくなる様に、道の駅保田小学校での農作物等の販売等も実施し、財源の確保を実施していく。
WEBサイトの広告収入	WEBでの体験予約サイトでの手数料収入及び広告収入による財源確保を行う。サイトを利用するサービス提供者及び広告掲出者を増やすことで財源を確保する。	

(2) ①官民協働(それぞれの役割を記載)	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信・受付窓口となる道の駅保田小学校の観光コンシェルジュや宿泊事業者、体験事業者に必要な情報を提供する。 ・事業を安全に遂行できるように研修を実施する。 ・町ホームページや広報による情報発信を実施する。
<p>〔先駆性のポイント〕 地方公共団体だけの取組ではなく、民間と協働して行う事業であること。また、単に協働することとどまらず、民間からの資金(融資や出資など)を得て行うことがあれば、より望ましい。</p>	民間事業者の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅や各事業者は、推進協議会で開発された体験プログラムを情報発信及び提供する。 ・個人事業者だけの展開ではなく、事業者同士で連携して、収益が得られる事業を体験プログラムとして開発・提供・PRを実施する。※現在、町内の事業者はほとんどが、家族経営であり、それぞれが個別に活動していることから小規模の経営がほとんどである。
	金融機関の役割	<p>町においては、千葉銀行、千葉興業銀行、京葉銀行、館山信用金庫、君津信用組合と活性化のための連携協定を結んでいる。具体的には、協議会への参画、起業・創業及び経営支援等の人材育成支援、まちづくり及び観光の推進、定住促進に関すること等である。</p> <p>また、町内外の体験プログラムのプレイヤーの掘り起しや地域住民のやる気の醸成を行う。</p>
	その他(連携者名と役割)	地域住民やボランティアと連携して、自然景観を維持し、快く体験ができる環境を整備することで、クリーンな観光地づくりを促進する。また、利用可能な空き家等の把握・維持を図り、いつでも活用可能な状態にし、事業拡大しやすい環境づくりを行う。

<p>(2) ②政策間連携(連携政策の効果とワンストップ化の内容を記載)</p> <p>〔先駆性のポイント〕 単一の政策目的を持つ単純な事業ではなく、複数の政策を相互に関連づけて、全体として、地方創生に対して効果を発揮する事業であること。また、利用者から見て意味あるワンストップ型の窓口等の整備を行う事業であること。</p>	<p>連携政策① : 【雇用促進と人材育成】 ・農業、漁業、観光業を主産業としている当町では、交流人口の増加は地域産業の活性化と経済効果に大きく影響があり、雇用創出が期待される。 ・一方で、少子高齢化の進む当町では、候補人材が不足しており、今回立ち上げる推進協議会や、既に事業を進めている実践型雇用創造事業を活用して、必要な人材、中核となっていく人材の育成を図っていく。 ・必要な人材は、雇用の創出に伴い、首都圏やU/Iターン人材など、町内外から募り、鋸南町雇用創造協議会を中心として受入れ体制や育成メニューを確立して、各事業者の自立性を高めていく。</p> <p>連携政策② : 【観光と農業・漁業・商工の連携】 ・宿泊事業者との連携による体験メニューの実施、体験プログラムの仕組み構築により、生産を主に営んできた農業及び漁業は、産業体験、自然体験などに取り組み、所得を拡大させ、一部サービス業への転換により、後継者の確保、新たな人材の確保、更には新たな事業展開への期待を見込む。 ・宿泊など観光事業者は、町の魅力を増大させる体験プログラムの構築、実施により、宿泊プランの多様化など事業の拡充を図ることが可能となり、平日閑散期の利用者の増大を見込む。 ・更に異業種連携は、町が取り込む6次産業化による商品開発などにも拍車がかかり、地域特産品の開発は、町内の販売、ふるさと納税の返礼品として活用が期待される。</p> <p>連携政策③ : 【推進協議会を核とした観光振興と交流人口の増加】 ・地域や産業内でのコミュニティ機能が低下している中、今回立ち上げる協議会を核に、地域や産業の枠組みを超えた横断的、一体的な取組によって、既存観光資源のPR活動や、体験プログラムの活用による交流人口の増加、地域内での経済効果を図っていく。 ・推進協議会を更に発展させることにより、将来の地域DMOの役割を担い、一貫した観光地づくり、観光施策の展開を図っていく。</p> <p>ワンストップ化の内容 : ・道の駅の窓口や、宿泊事業者、体験メニューの提供者など、全ての関係者が、同様の情報発信、受付を可能とする仕組みを構築することで、町の潜在能力を十分にPRでき、利用者は”アクティビティはまずは鋸南へ”を定着させる。 ・町内の受付窓口のみならず、南房総の玄関口としての立地を活かし、南房総地域の体験メニューや観光資源の案内などを行い、利用者にとって利便性、汎用性が高まる仕組みとする。</p>
<p>(2) ③地域間連携(各地方公共団体の役割を記載)</p> <p>〔先駆性のポイント〕 単独の地方公共団体のみの取組ではなく、関係する地方公共団体と連携し、広域的なメリットを発揮する事業であること。</p>	<p>地方公共団体名①及び役割 : 【南房総市、館山市、鴨川市、富津市】 ・道の駅保田小学校のコンセプトである南房総の玄関口としての機能を発揮し、南房総市・館山市・鴨川市・富津市それぞれの道の駅等が体験メニューや宿泊施設、地域資源等を情報発信し、更なる首都圏からの来訪者の増加を図る。 ・各自治体が提供している体験メニューや宿泊を相互補完し利用できる仕組みづくりを図り、南房総地域全体に対する利用者の関心を喚起する。</p> <p>地方公共団体名②及び役割 :</p> <p>地方公共団体名③及び役割 :</p> <p>地方公共団体名④及び役割 :</p>
<p>(3) 事業推進主体の形成</p> <p>〔先駆性のポイント〕 事業を実効的・継続的に推進する主体が形成されること。特に、様々な利害関係者が含まれつつ、リーダーシップを持つ人材がその力を発揮できる体制を有した推進主体であることが望ましい。</p>	<p>事業推進主体の名称 : きよなん体験推進協議会(仮称) 設立時期 28 年 11 月</p> <p>構成メンバー : 観光協会、商工会、道の駅保田小学校運営委員会、道の駅保田小学校直売所出荷組合、勝山漁業協同組合、保田漁業協同組合、佐久間アグリサポート、足立区自然体験事業者、金融関係者、ようこそ鋸南プロジェクト、鋸南町雇用創造協議会、佐久間地区活性化推進協議会、空き家バンク協定事業者(東海R. Estate株式会社、有限会社三洋商事)</p> <p>事業推進主体の事業遂行能力 : 町内の様々な関係団体が参加しており、事業遂行能力について問題はない。</p> <p>経営責任の明確化 : 各地への情報発信及び体験プログラムの取りまとめは、集客能力の高い道の駅保田小学校と連携し、町が責任をもって事業遂行にあたる。各体験プログラムの開発・提供については、各々の事業者同士が連携して実施し、推進協議会で連絡・調整しながら遂行する。</p>
<p>(4) 地方創生人材の確保・育成</p> <p>〔先駆性のポイント〕 事業を推進していく過程において、地方創生に役立つ人材の確保や育成を目指すもの。</p>	<p>地域独自の人材ニーズ : 体験プログラムの管理・運営のできる人材。事業運営や新規事業を展開するための中核人材。若い担い手。</p> <p>人材の確保・育成方法 : ・体験プログラムの実施に向けて、具体的な管理運営ノウハウを学ぶ。 ・雇用創造事業でのセミナー等で事業運営や新規事業展開のための人材育成を行う。 ・事業実施主体には、若い人材を採用してもらい、集中的に育成を行う。</p>
<p>(5) 国の総合戦略における政策5原則等</p> <p>〔先駆性のポイント〕 国の総合戦略における政策5原則(将来性、地域性又は直接性)の観点や新規性など、他の地方公共団体において参考となる先駆的事業であること。</p>	<p>狙う市場や実現したい将来像(将来性) : 東京湾アクアライン・圏央道や東京湾フェリー等の交通便利性より、首都圏や羽田空港・成田空港からの来訪者をターゲットに誘客し、年間を通した鋸南町の体験プログラムを提供していく。この体験プログラムから、将来的に、鋸南町に愛着を持った人々の移住定住につなげていく。</p> <p>地域の強み/地域特性(地域性) : 都心から車で約1時間というアクセスの良さに加えて、小さな面積の中で海と山が両方体験できる豊かな自然環境、温暖な気候で過ごしやすく、農産物や海産物が1年中採れる環境がある。また、浮世絵の創作者・菱川師宣の誕生地(町内に記念館あり)など歴史文化資源も豊富にある。</p> <p>直接性 : 道の駅保田小学校が平成27年12月にオープンし、多くの集客がある。併せて、町で実施してきた水仙や桜の植栽により観光客が増加している。体験プログラムが確立され、宿泊事業者との連携による事業化・提供ができることで鋸南町に滞留する人口が増加する。</p> <p>新規性 : 町内での事業者間での連携体制(観光×第一次産業×商工業)が進むことで、今まで個別の事業者のみで商売をしていたが、他業種が連携することで、農業体験+宿泊等といった観光パッケージ商品の提供が可能になる。これは首都圏・東京に取引先が多く存在していたことから、このような取り組みが遅れていたと思われるが、このような取り組みがこの東京から近いという立地条件で進むことは、鋸南町にとって、新規性のある取り組みである。</p>